

# 令和5年度 経営発達支援推進事業（伴走型事業予算：実績2,894千円／予算3,571千円（消化率81.0%））

分類	(1) 地域の経済動向の調査に関すること		(2) 需要動向調査に関すること		(3) 経営状況の分析に関すること	(4) 事業計画策定支援に関すること
事業	地域の経済動向分析	景気動向調査	「道の駅たかの」等の購買データ分析	「な・み・か」加盟店の消費動向分析	経営分析支援	事業計画策定等推進セミナー
実績／予算			600,000円／600,000円	600,000円／600,000円		
目的	事業計画策定の参考資料となる情報を抽出・加工し、「見える化」	管内景気動向等について、より詳細な実態を把握	新商品開発や既存商品のブラッシュアップに活用できるデータを抽出	地域内消費動向を把握するためのデータを抽出	経営分析によって自社の経営課題等を把握し、事業計画策定の意義について理解を醸成	地域内小規模事業者が事業計画策定に主体的に取り組めるよう支援
内容	<p>①時期 1月</p> <p>②内容 国が提供するビッグデータの分析を行い、公表する。</p> <p>③調査手法 経営指導員等が「RESAS（地域経済分析システム）」を活用し、地域の経済動向分析を行う。</p> <p>④調査対象 ・RESAS（地域経済分析システム）</p> <p>⑤調査項目 ・「地域経済循環マップ・生産分析」→何で稼いでいるか等を分析 ・「まちづくりマップ・From-to分析」→人の動き等を分析 ・「産業構造マップ」→産業の現状等を分析</p> <p>⑥調査結果の活用 調査した結果はホームページに掲載し、広く管内事業者等に周知するとともに、経営指導員等が事業計画策定支援を行う際の参考資料とする。</p>	<p>①時期 4月・7月・10月・1月</p> <p>②内容 全国商工会連合会が行う「小規模企業景気動向調査」を継続して実施し、管内小規模事業者の景気動向等について、調査・分析を行い、情報提供する。</p> <p>③調査手法 調査票を郵送または手渡し、返信用封筒で回収する。経営指導員等が回収したデータを整理し、外部専門家と連携し分析を行う</p> <p>④調査対象 ・管内小規模事業者20社（製造業、建設業、卸売業、小売業、サービス業から4社ずつ）</p> <p>⑤調査項目 売上額、仕入価格、経常利益、資金繰り、雇用、設備投資等</p> <p>⑥調査結果の活用 調査した結果はホームページに掲載し、広く管内事業者等に周知するとともに、経営指導員等が事業計画策定支援を行う際の参考資料とする。</p>	<p>①時期 12～1月</p> <p>②内容 各施設の上半期・下半期ごとの購買データを受領し、経営指導員等が分析した上で、経営分析に利用できる形に加工を行う。</p> <p>③分析対象 ・道の駅たかの ・道の駅リストアステーション ・モーモー物産館</p> <p>④想定する専門家 ・中小企業診断士、分析業者等</p> <p>⑤調査項目 来場者数、購買商品、購買点数、購買金額、平均単価等</p> <p>⑥調査結果の活用 食品製造業者等に直接説明する形でフィードバックし、商品開発・ブラッシュアップ等を行う。また、当該調査の分析結果を事業計画に反映する。</p>	<p>①時期 8月・10月・1月・4月</p> <p>②内容 管理システムの「PRIMES」に蓄積されたデータを四半期に1回出力し、経営指導員等が分析した上で、経営分析に利用できる形に加工を行う。</p> <p>③分析対象 ・「な・み・か」加盟店</p> <p>④想定する専門家 ・中小企業診断士、分析業者等</p> <p>⑤調査項目 購買人数、購買点数、購買金額、平均単価等</p> <p>⑥調査結果の活用 当該加盟店に直接説明する形でフィードバックし、更なる販促等を行う。また、当該調査の分析結果を事業計画に反映する。</p>	<p>①時期 通年</p> <p>②内容 定量分析たる「財務分析」と、定性分析たる「非財務分析」の双方を行う。</p> <p>③対象 ・セミナー参加者など事業計画策定に意欲的な地域内小規模事業者</p> <p>④募集方法 ・チラシを作成し、HP・SNS等で周知 ・巡回・窓口相談時に案内</p> <p>⑤分析項目 《財務分析》 直近3期分の収益性、生産性、安全性および成長性の分析 《非財務分析》 事業者の内部環境における強み、弱み、事業者を取り巻く外部環境の脅威、機会を整理</p>	<p>①時期 4月・9～10月</p> <p>②内容 事業者の事業計画策定ノウハウ習得を支援するため、セミナーを開催する。また、DXに関する意識の醸成や基礎知識を習得するためのセミナーも開催する。</p> <p>③対象 ・地域内小規模事業者及び創業予定者 ・独自の商品・サービスを持つ事業者</p> <p>④想定する講師 ・経営指導員 ・(株)はちえん。 代表取締役 坂田 誠</p> <p>⑤周知方法 ・地域内事業者へチラシ郵送350部 ・管内新聞折込み3,300部 ・商工会報、HP・SNS等への掲載</p> <p>⑥セミナー後のフォローアップ 受講者に対し、経営指導員等が担当制で張り付き、外部専門家も交えて確実に事業計画の策定に繋げる。</p>
実施目標	実施回数 1回	実施回数 4回	実施回数 1回	実施回数 4回	経営分析事業者数 24者	セミナー開催数 1回
進捗	①実施回数 1回（達成率100.0%）	①実施回数 4回（達成率100.0%）	①実施回数 1回（達成率100.0%）	①実施回数 3回（達成率75.0%）※第4四半期の分析を実施中	①経営分析事業者数 30者（達成率125.0%） ・創業・第二創業 5者 ・販路開拓 5者 ・設備投資 4者 ・資金繰り 9者 ・事業承継・M&A 2者 ・商品開発 0者 ・労務管理 2者 ・IT/DX 0者 ・経営革新 2者 ・その他 1者（倒産防止など）	①セミナー開催数 2回（達成率200.0%） ・4月28日経営計画作成セミナー ・8月29日、9月5日ショート動画集客セミナー  ②セミナー参加者 ・経営計画作成セミナー 11名 ・ショート動画集客セミナー 4名
課題	抽出データの量が多く、初見の場合、どこを見れば良いのかよくわからない。内容を精査し、絞った項目でデータを抽出する必要がある。	全国商工会連合会が行う景況調査では管内のサンプルの母数が少ないため、経営指導員等のヒアリングで補完しているが、データとして不十分である。「Googleフォーム」を活用したアンケートを検討。	POSレジでない事業者やデータ集積が分析に向かない事業者があり、対応したシステム導入支援を先んじて行う必要があるケースがある。	「PRIMES」から出せる情報が限定的であり、事業計画策定に活用できる水準にするためにさらなる試行錯誤が必要である。	事業計画策定への意識醸成に依然として忌避感があり、セミナー等での継続的な掘り起こしが必要。コロナ禍以降で増えた創業希望者を取り込みを図る。職員間で手法を統一するため、「ロカベン」を利用する。	事業の主体である経営指導員のうち、ベテラン1名が昨年度末に退職し、さらに9月に人事異動で1名異動になったことで計画策定支援の進捗が少し遅れ気味であった。
成果目標	ホームページ掲載数 1回	ホームページ掲載数 4回	ホームページ掲載数 1回	ホームページ掲載数 4回	事業計画策定事業者数 18者	
成果	①掲載ページ URL：https://x.gd/onWhe	①掲載ページ URL：https://x.gd/onWhe	①掲載ページ URL：https://x.gd/onWhe	①掲載ページ URL：https://x.gd/onWhe	①計画策定事業者 21者（達成率116.6%） ・融資 12件（マル経6件、コロナマル経6件） ・補助金 5件（持続化3件、業務改善1件、まちなか活性化1件） ・認定計画 0件 ・専門家派遣 2件 ・その他 3件（特定創業3件）	
前年度実績	①実施回数 1回（達成率100.0%）  ②掲載ページ URL：https://x.gd/gwLsn	①実施回数 4回（達成率100.0%）  ②掲載ページ URL：https://x.gd/gwLsn	①実施回数 1回（達成率100.0%）  ②掲載ページ URL：https://x.gd/gwLsn  ③商品開発事業者 1者 ・増田屋（ネギキムチ）	①実施回数 4回（達成率100.0%）  ②掲載ページ URL：https://x.gd/gwLsn	①計画策定事業者 19者（達成率105.6%） ・融資 7件（マル経2件、コロナマル経2件、コロナ特別貸付1件、県預託1件、新創業1件） ・補助金 7件（持続化2件、業務改善1件、創業サポート1件、まちなか活性化1件、観光施設設備1件、芸術線1件） ・認定計画 2件（経営革新1件、パートナーシップ1件） ・その他 1件（特定創業1件）	

# 令和5年度 経営発達支援推進事業（伴走型事業予算：実績2,894千円／予算3,571千円（消化率81.0%））

分類	(5) 事業計画策定後の実施支援		(6) 新たな需要の開拓に寄与する事業			
事業	事業計画策定後のフォローアップ	専門家派遣による支援	展示会・商談会への出展支援	オンライン紹介サイトの構築	即売会イベントの開催	「備北もん冬ギフト」事業
実績／予算	325,660円／337,500円		50,480円／45,000円	800,000円／1,000,000円		53,428円※／332,200円
目的	事業者の策定した計画が着実に実行されているか定期的かつ継続的にフォローアップ	専門家を派遣することで、迅速な課題解決を図り、事業計画の目標達成を支援	策定した事業計画の達成に向け、個社の段階にマッチした展示会への出展を支援	広告宣伝力の弱い管内事業者を紹介する「ランディングページ」を構築	展示即売会を開催し、管内事業者の認知度向上や販路開拓を支援	管内事業者の商品をを詰め合わせたギフトを企画し、地域外に販売することでPR
内容	<p>①時期 通年</p> <p>②内容 巡回訪問等を実施し、18者のうち、6者は毎月1回、6者は四半期に1回、他の6者については年2回とする。ただし、事業者からの申出等により、臨機応変に対応する。</p> <p>③対象 ・令和3年度～令和5年度に事業計画を策定した地域内小規模事業者</p>	<p>①時期 通年</p> <p>②内容 進捗状況が思わしくなく、事業計画との間にズレが生じていると判断する場合には、他地区等の経営指導員等や外部専門家など第三者の視点を必ず投入し、当該ズレの発生要因及び今後の対応方策を検討の上、フォローアップ頻度の変更等を行う。</p> <p>③対象 ・事業計画を策定した地域内小規模事業者 ・セミナー等に参加し、新たに計画策定した事業者 ・新たな課題や計画遂行のために必要な対策、計画自体の見直しを検討する事業者</p> <p>④想定する専門家 中小企業診断士等を目的に応じて担当者が選定する。</p>	<p>①時期 8～2月</p> <p>②内容 策定した事業計画の達成に向け、個社の段階にマッチした展示会への出展を支援するため、旅費を支援する。出展にあたっては、経営指導員等が事前・事後の出展支援を行うとともに、出展期間中には、陳列、接客など、きめ細かな伴走支援を行う。</p> <p>③対象 ・商談会等に出展する地域内小規模事業者</p> <p>④想定する展示会等 広島市内で開催される商談会等への出展を想定。</p>	<p>①時期 8～2月</p> <p>②内容 個店のみでは消費者への訴求力が乏しいという地域内小規模事業者の弱みを補完し、自社ECや予約ページへ誘導するサイトを構築する。</p> <p>③対象 ・管内飲食事業者</p>	<p>①実施時期 9月</p> <p>②内容 当会が主催で展示即売会を開催し、管内事業者の認知度向上や販路開拓を支援する。</p> <p>③対象 ・地域内小規模事業者</p>	<p>①時期 11～12月</p> <p>②内容 年1回、商工会が管内事業者の製造する商品を取りまとめたギフトを企画し、商品開発やパッケージ等の支援を行いながら、商品構成等の伴走支援を行う。</p> <p>③対象 ・地域内食品製造・加工事業者</p> <p>④周知方法 ・地域内事業者へチラシ郵送350部 ・庄原市内新聞折込み10,200部 ・前回注文者DM500通 ・中国新聞等メディアへのプレスリリース ・商工会報、HP・SNS等への掲載</p>
実施目標	フォローアップ事業者 36者 頻度 216回	派遣事業者数 3者 派遣回数 9回（3者×3回）	商談会出展事業者 5者	掲載事業者 5者	出展事業者 10者	参画事業者 20者
進捗	<p>①フォローアップ事業者数 36者（令和3年度9者、令和4年度18者、令和5年度9者）（達成率100.0%）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>融資 4件（マル経2件、コロナマル経2件）</li> <li>補助金 3件（持続化3件）</li> <li>認定計画 2件（経営力向上1件、先端設備1件）</li> <li>専門家派遣 19件</li> <li>その他 0件</li> </ul> <p>②頻度 228回（達成率105.5%）</p>	<p>①派遣事業者数 8者（達成率266.6%）</p> <p>②派遣回数 22回（達成率244.4%）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>創業・第二創業 0回</li> <li>販路開拓 0回</li> <li>設備投資 0回</li> <li>資金繰り 4回</li> <li>事業承継・M&amp;A 0回</li> <li>商品開発 4回</li> <li>労務管理 1回</li> <li>IT/DX 1回</li> <li>経営革新 0回</li> <li>その他 12回（倒産防止など）</li> </ul>	<p>①展示会・商談会への出展 延べ3者（達成率60.0%）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>10月21日・22日 グルメサミット in尾道</li> <li>10月28日・29日 フードフェスティバル2023</li> <li>2月26日 広島城オイスターフェス2024</li> </ul>	<p>①掲載事業者 10者（達成率200.0%）</p>	<p>①展示即売会の開催 日時 10月1日（日）10時～15時 場所 国営備北丘陵公園北口 里山の駅ふらり 会場利用者数 2,675人</p> <p>②出展事業者 5者（達成率50.0%）</p>	<p>①参画事業者 19者（達成率95.0%）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>詰め合わせ 9者</li> <li>その他個社単独 10者</li> </ul> <p>②ギフト販売数 278個</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>詰め合わせギフト 104個</li> <li>その他個社単独ギフト 174個</li> </ul> <p>②実施スケジュール ・11月15日DM等発送 ・11月16日新聞折込 ・11月30日注文受付〆切 ・12月7日梱包・発送作業</p>
課題	人員の変更が多く、前担当者から十分に引き継いでいない事業者が多い。新任の中には初任者もあり、スキルアップと併せて、段階的な引き継ぎが必要である。	派遣の時期や予算の関係から、伴走型事業ので賄えなかった相談については、国や県の派遣制度を活用して対応している。	事業者の多くは自分を含めて1～3名体制であり、なかなか展示会に出展する時間を作れない。納品ロットの観点からも、BtoCやオンラインの商談会も回転すべきである。	評価委員より（一社）庄原観光推進機構も同様の事業を進めているとの意見が出たため、事業を停止した。今後（一社）庄原観光推進機構のサイト構築に協力する形で情報の一元化を図り、地域内小規模事業者に貢献する。	青年部の備北地域協議会主体で行ったが、部員間で作業量の不平等や事務局の負担が大きい点、次年度予算が確保できない点からやり方を大きく変更する必要がある。	（一社）庄原観光推進機構と連携することでPR等効果的に事業を行うことができた。商工会で申込みできるものの、支払いはできないなど消費者から見て一部不親切な点もあったため、次年度改善の必要がある。
成果目標	売上増加事業者数 10者		成約件数 1件	売上額 10万円/者	売上額 3万円/者	売上額 15万円/者
成果	①売上増加事業者数 21者（達成率210.0%）		①成約件数 0件（達成率0.0%）	①サイトURL 備北もん.com : https://bihokumon.com/ ②売上額10万円以上 3件（達成率60.0%）	①売上額 5者合計168,300円 1者あたり33,660円（達成率112.2%）	①売上額15万円以上 2者（達成率10.0%）
前年度実績	①売上増加事業者数 13者（達成率130.0%） ②フォローアップ対象事業者 41者（令和2年度29者、令和3年度12者） うち、フォローアップ事業者 38者（達成率92.6%） ・融資 9件（マル経4件、コロナマル経4件、CF1件） ・補助金 4件（ものづくり1件、事業再構築1件、再チャレンジ1件、最寄り買い1件） ・認定計画 1件（経営革新1件） ・専門家派遣 9件 ・その他 0件		①成約件数 2件（達成率200.0%）	①サイトURL 備北もん.com : https://bihokumon.com/ ②売上額10万円以上 2件（達成率40.0%）	①台風のため、イベント中止	①売上額15万円以上 4者（達成率20.0%）
	③頻度 302回（達成率279.6%）					

# 令和5年度 経営発達支援推進事業（伴走型事業予算：実績2,894千円／予算3,571千円（消化率81.0%））

分類	(7) 事業の評価及び見直しをするための仕組みに関する事	(8) 経営指導員等の資質向上等に関する事			(9) 他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換に関する事	(10) 地域経済の活性化に資する取組に関する事
事業	事業評価委員会の開催	外部講習会等の積極的活用	職員間定期ミーティング等の開催	支援状況のデータベース化	個社支援事例報告会の開催	
実績／予算	45,200円／132,000円				86,944円／122,600円	
目的	委員会を設置し、経営発達支援事業の進捗状況等について評価を実施	支援能力の一層の向上のため、計画的にセミナーへ派遣	事業者の支援状況や職員間の情報共有を行い、意見交換することで支援能力を向上	支援ノウハウを蓄積し、組織内で共有することで支援能力を向上	支援ノウハウの一層の向上や関係機関等との相互連携の強化	地域の賑わいを創出し、管内事業者の売上向上にも寄与
内容	<p>①開催時期 適宜</p> <p>②内容 事業評価委員会を設置し、計画の進捗状況の確認及び今後の計画推進への意見を聴取し、計画の実行性を高める。</p> <p>③委員 ・庄原市 企画振興部 商工観光課 ・（一社）庄原観光推進機構 ・道の駅たかの ・モーソー物産館 ・道の駅リストアステーション ・広島県商工会連合会 経営支援課 ・備北商工会 会長 ・総務委員長 ・商業部会長 ・工業部会長 ・農林水産部会長 ・法定経営指導員 ・外部有識者（中小企業診断士等を想定） ・広島県立大学地域連携センター</p>	<p>①時期 通年</p> <p>②内容 事業計画策定やDX推進（業務効率化、需要開拓等、その他取組）に向けたセミナーに対し、計画的に職員を派遣する。</p> <p>③対象 ・経営指導員 ・経営支援員</p> <p>④想定するセミナー等 ・中小企業庁が主催する「経営指導員研修」 ・広島県商工会連合会主催の「経営革新支援研修会」 ・その他民間事業者が提供するセミナー</p>	<p>①時期 通年</p> <p>②内容 「Zoom」で本支所間を繋ぎ、定期的なミーティングを開催して意見交換等を行う。</p> <p>③開催頻度 毎週月曜に週1回開催とする。</p>	<p>①時期 通年</p> <p>②内容 基幹システムや経営支援システム上のデータ入力を適時・適切に行い、支援中の小規模事業者の状況等を職員全員が相互共有できるようにする。</p> <p>③対象 ・経営指導員 ・経営支援員</p>	<p>①時期 1月</p> <p>②内容 管内事業者や関係機関と地域課題の共有や支援ノウハウ等の交換を行うことを目的としたセミナーを開催する。</p> <p>③対象 ・地域内小規模事業者及び創業予定者 ・庄原商工会議所 ・東城町商工会 ・広島みどり信用金庫 ・（一社）庄原観光推進機構ほか</p> <p>④周知方法 ・地域内事業者へチラシ郵送350部 ・管内新聞折込み3,300部 ・商工会報、HP・SNS等への掲載</p> <p>⑤セミナー後のフォローアップ 地域内小規模事業者の事業計画策定機運の醸成や次期事業計画の立案に活かす。</p>	<p>①時期 通年</p> <p>②内容 イベント単独の取組みではなく、個社の事業計画と連動させ、イベント以降の業績向上に繋げていくような取組みとする。</p> <p>③取組 (1)「比婆いざなみ街道協議会」への出席（年3回） (2)観光振興事業への支援・協力 【地域振興イベント（予定）】 ・ヒバゴン郷どえりゃあ祭（西城地区） ・比和やまびこ祭（比和地区） ・広島県雪合戦大会（高野地区） ・口和モーソー祭（口和地区・隔年） ・総領おいでん祭（総領地区・隔年）</p>
実施目標	開催回数 年1回		実施回数 45回			
進捗	<p>①開催回数 2回（達成率200.0%） ・4月28日評価委員会 ・12月22日中間評価委員会</p>	<p>①受講した研修 ・4月11日DXチャレンジK.O.セミナー ・5月29日、6月6日DXセミナー ・7月6・7日、10月10・11日、10月24・25日、11月9・10・21・22日経営革新支援研修 ・7月25日、8月1・8・22・29日、9月5・12・19・26日DX中級研修 ・10月16日DXスキルアップ研修 ・10月27・30日事業継続リスク啓発オンラインセミナー ・11月30日法定経営指導員業務に関する実務講習</p>	<p>①実施回数 40回（達成率88.8%）</p> <p>②主な共有事項 ・地区ごとの支援状況 ・各地域イベントの状況 ・各部会の事業計画及び報告 ・経営発達支援事業の進捗報告 ・キャッシュレス推進協議会の取組み ・今後のスケジュール</p>		<p>①セミナー受講者数 10者（1者関係機関）</p> <p>②実施スケジュール ・12月25日案内チラシ納品 ・1月5日事業者発送 ・1月9日新聞折込 ・1月26日申込締切 ・1月31日セミナー開催 以降、フォローアップ</p>	<p>①「比婆いざなみ街道協議会」への出席 ・4月13日「たんぼラグビーin庄原」決議 ・10月16日「三河内の秋体験交流会」決議 ・11月24日観光スポット等動画作成決議</p> <p>②観光振興事業への支援・協力 【実施イベント】 ・8月13日ヒバゴン郷どえりゃあ祭 ・10月22日比和やまびこ祭 ・2月4日広島県雪合戦大会 ・10月7・8日口和モーソー祭 ※総領おいでん祭は隔年のためなし</p>
課題	事務局より提出される資料に不明瞭な点が多いため、分かりやすい内容に刷新する必要がある。	期中に人員変更があったため、計画通りではなかったものの遂行できた。個々人の主体的な課題設定と県連以外の研修受講費の捻出が課題である。	令和4年度は金曜に開催していたが、支所の開所日の変更により出勤日でない職員がいるため、全職員が参加できるよう月曜に変更した。臨時職員の出勤の変更に伴い、令和6年度は火曜に変更。		セミナー資料の作成が職員にとって大きな負担となっている。この課題に対処するため、「Canva」などのITツールを活用し、作成にかかる時間と労力を大幅に削減、作業の省力化を図っている。	「比婆いざなみ街道協議会」の予算が余ったため、もっと広く周知する必要がある。イベントに関しては、事務局のマンパワーも減っているため、持続可能なやり方を模索している。
成果目標						
成果					①セミナー受講者のうち、事業計画策定支援開始事業者数 2者	
前年度実績	①開催回数 0回（達成率0.0%） 前年度分の報告を令和3年度中に行い、中間で開催しなかったため	①受講した研修 ・8月17日～9月13日財務・税務研修会（基礎1） ・10月12・19日、6月6日低コストで進めるIoT導入支援	①実施回数 48回（達成率106.7%）		①セミナー受講者のうち、事業計画策定支援開始事業者数 2者	①「比婆いざなみ街道協議会」への出席 5月31日総会開催 7月11日「ヒバゴン出沒地看板設置事業」、「Try Your Wing～やってみよう！感じてみよう！知ってみよう！～」決議 9月27日「Eバイクレンタサイクル里山ツーリズム」、「庄原産紅あずまを使用した「干し芋」の販売促進」決議  ②観光振興事業への支援・協力 コロナ禍のため、実施イベントなし